



学校だより



高島市立マキノ中学校
文責 饗庭一弥

■当面のおもな行事・予定（体育館エアコン設備は完成間近です。学校行事や授業等では試運転しています。）

9/16(火)定期テスト 20(土)環境整備作業（保護者・生徒） 22(月)・25(木)小合同陸上練習会
30(火)文化祭 10/17(金)中体連秋季総体 23(木)生徒会役員選挙 30(木)校内マラソン大会

仲秋のテスト・文化祭

「仲秋」（ちゅうしゅう）・・・仲秋は秋の半ばの一か月のことで、陰暦（月の満ち欠けの周期を基準とする暦、1年が約354日）では8月、現在の暦（太陽暦）では9月上旬頃から10月上旬頃を指すそうです。「中秋」はその期間のうち陰暦の8月15日のことで、「中秋の名月」とは、その夜（今年は10月6日・現在の暦）に見える満月のことだそうです。

本校では、年間4回（6・9・11・2月）の定期テストを実施しています。ただし、3年生の第4回テストは1月下旬に計画しています。3年生のテストを早めた理由は、高校入試の制度や日程が大きく変わり、県立高校の一般入試が2月26日、合格発表が3月9日となり、卒業式を3月6日に予定しているためです。

定期テストのねらいは、「授業内容の理解度を確認し、学力や学習習慣を定着させること」です。学級や教科の授業で生徒に伝えているとおり、定期テストはそれまでに学習した内容を総復習し、学力の定着を図り、日々の授業の取り組みや成果とともに、成績評価や進路選択の判断材料となります。定期テストの結果を目標設定の機会と捉え、次回に向けた学習計画を立てて家庭学習を習慣化させ、継続的な学力向上につなげましょう。

テストの後、9月30日には生徒会が企画する文化祭が予定されています。3年生が中心となって運営するイベントが間近に迫ってきました。思いや願いがこもった文化祭にできるよう、協力した取り組み、工夫ある準備を期待しています。

■滋賀県第28回中学生広場「私の思い2025」

中学生広場は県内から選ばれた12名の中学生が日ごろ考えていること、体験したことを自分の言葉で主張するという形でまとめ、それらを発表する場です。今年の県中学生広場では、本校3年生の落川温心さんが「決断するために」のテーマで堂々と意見を発表し、優秀賞（青少年育成県民会議会長賞）を受賞しました。また、地域貢献活動の発表や司会等の実行委員としてマキノ中から代表の生徒が参加し、活躍しました。



県中学生広場 表彰式
(8月23日 高島市民会館にて)

<ちょっとうれしいお話> マキノの社会福祉協議会の方から電話がありました。設置している募金箱を回収に行ったときにお店の方からマキノ生が「こんなところにも募金箱がある。」と言って募金に協力してくれたようです。地域で自主的に行動してくれている様子を聞くことができ、心が温まりました。

■避難訓練 9月3日（水）

午後の授業中「緊急地震速報です」の放送により、避難訓練を開始しました。机の下に身を隠し、無言で速やかに退避行動がとれ、視察をされていた高島消防署予防課の方も感心されていました。また、予防課の職員さんから「火事の時、煙や火の広がりを遅らせるため、避難後は部屋の窓や戸は閉じる。地震の時、避難時の逃げ遅れや生き埋めを防ぐため、窓や戸を開放して出口を確保する。」と助言をいただきました。緊急時の行動に生かしましょう。

■情報モラル教室（1年生） 9月5日（金）

高島少年センターあすくる高島の菅谷参与を講師に迎え、1年生を対象に、スマホ、インターネット、SNSなどの利便性や危険性ととも、コミュニケーションや相手にいやな思いをさせないための気遣い、マナーを学びました。生徒の感想の一部を紹介します。

◆心のものさしは、人それぞれ違うから気をつけないといけない。◆
誤解が生まれるかもしれない言葉やスタンプを使うのは控えたい。
自分は悪いことに気付かずに、相手にいやな気持ちにさせているからしっかり確かめてから送る。スタンプによっていやな気持ちになることが分かったし、SNSで顔や名前を出さないように気をつける。
自分がいやな気持ちになったらすぐに親や先生に相談をする。
相手とのかかわり方をしっかり考えていきたい。



■令和7年度全国学力・学習状況調査（4月17日・3年生）の結果と分析

以下、全国の傾向と本校を比較分析した一部を紹介します。（生徒には個人別の結果と分析を伝えていきます）

○…正答率が高かった項目 ●…課題としてとらえている項目 ※…総合的に分析した結果

【国語】

- 読み手の立場に立って文章を整えることができる。また、その理由について述べるができる。
- 自分の考えが伝わる文章になるように、条件に従って根拠を明確にして書くこと、また、話の構成を工夫し、資料や機器を使って自分の考えをわかりやすく書くことに課題がある。

【数学】

- 「数と式」の領域での「素数の意味」、「データ活用」の「必ず起こる事柄の確立」について理解できている。
- 「数と式」、「図形」の領域の記述式の問題において、数学的な表現を用いて、傾向をとらえて証明したり、構想に基づいて証明したりすることに課題がある。

【理科】

- 水をテーマとした探究活動での他者の発表から新たに生じた疑問や身近な生活とのつながりに着目した振り返りを記述することができる。また、「大地の変化と地層」では、知識・技能を関連付けて地層の重なりや広がり方を推定できた。
- 「呼吸を行う生物についての生命を維持する働きに関する知識」、「回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識」を正確に身に付けることに課題がある。

【学習状況】

- 「毎日朝食を食べる」「決まった時間に就寝・起床している」割合が高く、生活習慣が整っている。
- 「人の役に立つ人間になりたい」、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」「授業で学んだことは、将来社会に出たときに役立つと思う」割合が高く向社会性が育まれている。
- 特に今年度の3年生では、「学級生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」、「自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と考えている生徒の割合が大変高く、主体性や多様性の理解が育まれている。
- 学習習慣については、「1時間より少ない」生徒が多く、家庭学習の習慣化に大きな課題がある。
- 「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる」、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」割合が低く、学習を調整する力について課題がある。

※全国や県と比べて、無解答率（何も答えを書いていない状態）が低く、どんな問題であっても挑戦する姿が見られ、学習課題に対して前向きに取り組んでいます。今後は、知識・技能を正確に身に付けるとともに、日常生活や体験したものと結びつけた学習や適切な課題を設定し、課題解決のための方法を考えて分析する時間を充実させる必要があると考えています。授業の振り返りや自分の学び方を選択し見直す時間や場面を大事にする学習の場を設定していきます。